

# 小児の抗菌薬について



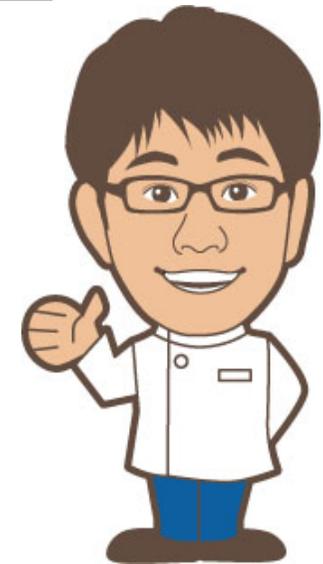
# 抗菌薬の第一選択薬はペニシリン系です

サワシリン

ワイドシリン

クラバモックス

- ◆ 中耳炎や副鼻腔炎に多い肺炎球菌に有効です
- ◆ 耐性菌（薬が効きにくい菌）でも高容量投与で効果があります
- ◆ 副作用の下痢は投与後2～3日目に最も多く認められますが、その後は経過とともに減少します
- ◆ 水様便のようなひどい下痢でなければ、服薬を止めずに水分を十分に補充しましょう



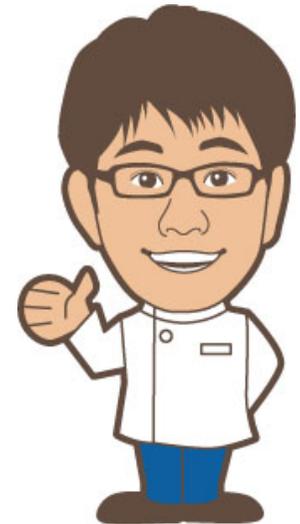
# 抗菌薬の第二選択薬はセフェム系です

メイアクト

トミロン

フロモックス

- ◆ 中耳炎や副鼻腔炎に多いインフルエンザ菌に有効です
- ◆ 耐性菌（薬が効きにくい菌）でも高容量投与で効果があります
- ◆ 1日3回を厳密に守りましょう 朝、帰宅後、眼前
- ◆ 1日2回では耐性菌の選択を助長し、有効性が非常に低下します

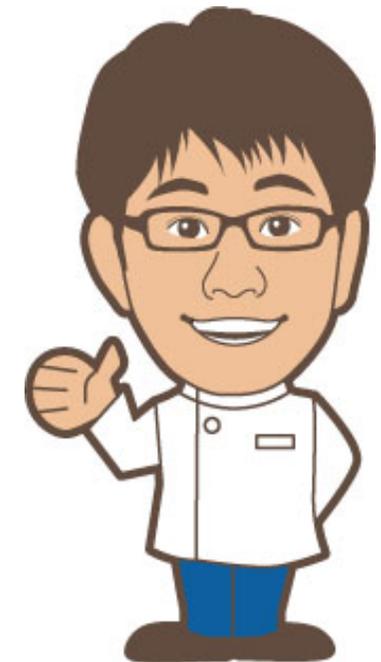


# オゼックス、オラペネムは最後の砦、切り札です

オゼックス

オラペネム

- ◆ 重症例に非常に効果がありますが、切り札の薬です
- ◆ ペニシリンやセフェムで治る子どもに**オゼックス**や**オラペネム**を乱用するのは**新たな耐性菌の出現を招きます**
- ◆ 症例の選択と使うタイミングに注意する必要があります
- ◆ オゼックスは関節障害に注意する必要があります



# マクロライドは、長期に内服しても大丈夫です

クラリシッド

クラリス

ルリッド

- ◆ マクロライド本来の抗菌作用ではなく、抗炎症作用、免疫調整作用、粘液分泌調整作用などによるものです
- ◆ ペニシリン系やセフェム系の抗菌薬を使用しても症状が続く場合に使用します
- ◆ 慢性副鼻腔炎では3か月程度内服することもあります

